

しんち九条の会だより

第1号

2006/11/28

平和コンサート盛大に開催！

しんち九条の会では初めての大きな事業として、去る9月9日に「平和コンサート」を盛大に開催しました。

内容としては、小高区同慶寺副住職の田中徳雲氏による講演をはじめ、新地のおかあさんコーラス「コールしおさい」の心に染み入る美しいハーモニー、「和太鼓秋祭り」の皆さんによる大迫力のパワー溢れる和太鼓演奏、更には荒千恵子さんの日本ではなかなか見ることの出来ないバリ島伝統舞踊や、荒芳樹さんのシンセサイザーの酔わすような名演奏など実に多彩な催しとなりました。参加者が思ったほど多くなかったのが少し残念でしたが



福島民報にも記事が掲載されるなど、最初の催しとしては一応成功だったのではないかと思います。今後は、実施の時期や内容時間帯や費用など、更に検討して行きたいと思っています。皆様の絶大なるご協力を頂きましたことに深く感謝いたします。

しんち九条の会のこれまでの経過

しんち九条の会が発足してから7ヶ月が過ぎました。そこで、今までの経過をおおざっぱに振り返って見たいと思います。

4月17日(月) しんち九条の会発会式

19時から 農村環境改善センター

4月24日(月) 新聞折込で「しんち九条の会」の発足を町民の皆さんに知らせ、会員を募集する。

5月27日(土) 国民大行動(東京)に参加(事務局)

6月10日(土) 全国交流会(東京)に参加(事務局)

6月15日(木) 憲法9条についての学習会実施

19時から総合体育館会議室

6月24日(土) 澤地久枝さん講演会に参加

13時から 福島市(ワゴン車2台)

8月18日(金) 呼びかけ人会議

19時から 農村環境改善センター

9月9日(土) 平和コンサート

19時から 農村環境改善センター

その他月1回程度の事務局会議を開いています、

日本国憲法第9条

- 1項 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- 2項 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。

しんち九条の会って何？

●日本国憲法第9条を改めずに今のままの9条を子孫に残そうと、ただそれだけの目的で結成されたものです。

●しかし、そのためには国民の半数以上の賛同者が必要で、新地町でも半数以上の賛同者が集まるよう活動しています。

●勿論、政党や個人の考え方のちがいなどには関係なく加入できます。

●ただ、活動資金が足りないので入会時に1回だけ1,000円の入会金を頂いています。

●ぜひあなたも入会して下さい。

入会しても良いと思われた方は下記にご連絡ください。

目黒 美津英(前教育長)

TEL・62-2371

教育基本法と学校の現状

改正をそんなに急いでどこに行く

政府は、教育基本法の改正（改悪）を最重要課題と位置づけ、今国会で強引に通過させようと卑劣な手段をとっています。

そもそも教育基本法は日本国憲法の本質と一体をなすものであって、戦前の誤った教育を根本から改め、真の民主国家を形成する人間を育て上げることなど、日本国憲法の本質を実現する教育を行うというねらいで作られたものです。

それを何故急いで改めようとするのでしょうか。

●まず一つは、教育を国家が統制しようとするねらいがあるからだと思われます。戦前のように教育の内容を国がおさえていけば国のいう事をきく、都合のいい人間を育てることが出来るのです。

●また、よく言われる愛国心もその一つだと思われます。法律によって強制された国を愛する心は、愛国心の下に戦争へと駆り立てられていった戦前の青年たちの姿が思いだされ心配です。

ところでいま、いじめ・自殺・虐待などが大きな社会問題として取り上げられています。それらの問題を政府のいう教育基本法の改正（改悪）で止められるとは、とても思われません。

私達は、日本国憲法と同じようにこの教育基本法も守っていかなければならないのです。

南相馬市小高区出身の憲法学者

鈴木安蔵先生

日本国憲法の内容に大きな影響を与えた憲法草案を作成

私たちのすぐ身近な小高(現南相馬市小高区)出身の鈴木安蔵という方は、憲法研究会という組織の中心メンバーとして、「憲法草案要綱」を起草しましたが、この草案要綱は新憲法の作成に非常に大きな影響を与えました。

そのため、「日本国憲法の日本における本籍は、福島県」などとも言われています。

鈴木氏を主 **平和を守る'映画づくり'にあなただのご協力をお願いします!**

人公にした

映画「日本

の青空」が

現在撮影中

です。楽し

みですね。

日本国憲法公布60周年記念
映画 **日本の青空**
監督 大澤 豊 脚本 和田太朗 企画・製作 小宮裕亮
いよいよ2006年・秋 撮影開始!

学校は今!

教育現場で何が

現在学校や先生方には、さまざまな抑圧が渦を巻いているのではないのでしょうか。

いろいろな外部からの評価や、日の丸・君が代の強制などに見られる押し付け、書類の作成や残業に追われた先生方は、のびのびと自分の信念に基いた教育ができるのでしょうか。

教育とは本来、個性溢れる多様な先生方が子供たちと人間的なふれあいを通じてなされるものであって、上からの押し付けや統制では決して正しい教育は期待できません。



先日、いじめた子供を出席停止にするという案が報道されましたが、そんなことでいじめが無くなるようなら、たいしたいじめではないのです。第一、出席停止にした子供の面倒を誰が見るというものでしょうか。結局、先生方が毎日家庭訪問するようになるのではないかと思います。

いずれにしても、教育というのはとても大切なものです。国家が支配することのないよう常に見守っていなければなりません。